

文献 28

Ozerkan KN, Bayraktar B, Sahinkaya T, Goksu OC, Yucesir I, Yildiz S. Comparison of the effectiveness of the traditional acupuncture point, ST. 36 and Omura's ST.36 Point (True ST. 36) needling on the isokinetic knee extension & flexion strength of young soccer players. Acupuncture & electro-therapeutics research. 2007; 32 (1-2): 71-9. MEDLINE ID: 18077938

1. 目的

若年サッカー選手の等速性膝屈伸運動時の足三里穴への鍼に対する効果の評価。

2. 研究デザイン

比較試験 クロスオーバー (cross over)

3. セッティング

Pakize Tarzi 研究室、イスタンブール、トルコ

4. 参加者

若年サッカー選手 24 名 (16.9±0.7 歳、16-19 歳)

5. 介入

Arm1: 伝統鍼群 (24 名) 足三里穴(ST26)に円皮鍼 (0.22mm×1.3mm) を貼付し、1 分間叩打。

Arm2: Omura 鍼群 (24 名) Bi-Digital 0-Ring Test を用いて足三里穴の位置を検出し円皮鍼 (0.22mm×1.3mm) を貼付し、1 分間叩打。

6. 主なアウトカム評価項目

膝屈伸運動時のピークトルク値

7. 主な結果

ピークトルク値: 両群の値は、ベースラインと比較して、有意に増加した (P<0.01)。両群を比較すると Omura 鍼群の方がより有意に増加した (P<0.01)。

8. 結論

足三里穴への円皮鍼貼付は、若年サッカー選手の膝屈伸運動時のピークトルクを増加させるために有効である。

9. 論文中の安全性評価

記載なし。

10. Abstractor のコメント

足三里穴の円皮鍼貼付による膝屈伸運動時の大腿筋群のピークトルクへの効果について Bi-Digital 0-Ring Test の活用の有無により検討した比較研究である。両群ともベースラインと比較して有意に増加していたが、円皮鍼による効果を立証するためには、コントロール群の設定し比較する必要があると考える。また、両群の実験の順番の無作為化、実験対象者や実験者の盲検化については記載がみられなかったことは改善の余地があると思われる。円皮鍼はスポーツ現場で活用されている。円皮鍼のパフォーマンスへの効果を立証するためには、より質の高い研究が望まれる。

11. Abstractor and date

近藤宏 2016.2.15